

7日に行われた、まつざき県議の討論 (要旨)

福島原発事故からいまだ12万5千人の人たちが避難生活を余儀なくされています。安全な原発などない、人類と原発は共存できないという教訓を学び、住民の苦しみや犠牲を決して無駄にせず全ての原発からただちに撤退することを決断すべきです。

九州電力は、火山噴火の予知について「予知できる」という立場に立ち、火山学者は「予知できない」と発言しています。県や県議会は県民の安全を守るためには当然「予知できない」という立場に立ってかんがえるべきです。

30キロ圏内の9市町においては、避難計画が策定されました。しかし、住民からは「これで安全に避難できるのか」と不安や疑問は続出しています。9月になって、風向きによって避難方向を変える「調整システム」が導入されましたが、疑問は深まるばかりです。100%安全に避難できる計画の策定が不可欠です。

30キロ圏内の自治体で廃炉を求める意見書や避難計画なしに再稼働を認めないことを求める意見書が上がりました。事故が起きれば「死の灰」はどこまでも広がり、その被害を受けるのは住民です。意見書を重く受け止めるべきです。

豊かなふるさとと、そこに根を下ろして暮らしている県民の命と暮らしを守るため、本県議会は、川内原発の再稼働に断固反対するべきです。



7日、本会議「採決」後、再稼働反対を訴え続ける傍聴者（本会議傍聴席）

川内原発再稼働ストップさせるために全力を尽くします



緊急署名6317名分 県知事は川内原発再稼働に 同意しないで

川内原発再稼働に反対する「原発ゼロをめざす県民の会」は4日、県知事に対し、再稼働に同意しないよう求める6317人分の緊急署名を提出しました。



6日深夜、特別委員会「採決」後の集会で報告するまつざき県議（議会庁舎前）



7日朝、再稼働反対を訴える集会であいさつするまつざき県議（県庁前）

< 請願陳情に対する、各党派等の態度 >

○採択すべき ×不採択すべき △継続審査すべき

	共産党	自民党	県民連合	公明党	無所属A	無所属B	無所属C	採決結果
全ての原発からただちに撤退することを決断し、川内原発1, 2号機など原発の再稼働を行わないよう求める意見書を政府に提出することを求める陳情書	○	×	○	×	×	×	×	不採択
川内原発1号機、2号機の廃炉と3号機増設の白紙撤回を求める陳情書	○	×	○	×	○	○	△	不採択
川内原発再稼働の地元同意に係る決議の採択について	○	×	○	×	△	○	×	不採択
川内原発1, 2号機再稼働について、九州電力の3つの申請書がそろい、かつ原子力規制委員会の審査が終了するまで議会判断をしないことを求める陳情書	○	×	○	×	○	×	×	不採択
川内原子力発電所1, 2号機の一日も早い再稼働を求める陳情書	×	○	×	○	×	○	○	採択